

TPP（環太平洋経済連携協定）は、食や地域の未来を大きく変えてしまう問題です。一緒に考えましょう！

TPPを考える県民フォーラム

～食料・食の安全・農林水産業・労働・医療など
地域経済やくらし全般に影響を与えるTPP～

3月5日(土)13:00～15:30

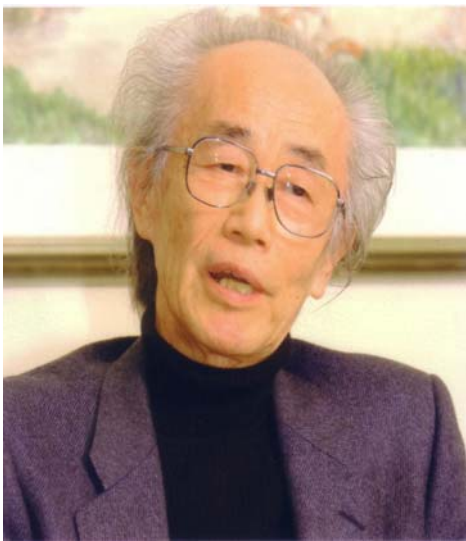
岩手教育会館大ホール 参加無料

基調講演

『TPP開国論を糾す』

～地域経済と暮らしはどうなる？～

経済評論家 **内橋克人**さん



講師プロフィール：1932年神戸市生まれ。新聞記者を経て経済評論家。90年代から一貫して市場原理至上主義、新自由主義的改革に対して警鐘を鳴らし続けてきた。半世紀にわたってテレビ、ラジオ、新聞、雑誌などのメディアを舞台に活発な発言を続けている。第60回NHK放送文化賞。国連「協同組合年全国実行委員会」代表。

政府は、TPP（環太平洋経済連携協定）への参加について6月に結論をだすと表明しています。「参加しなければバスに乗り遅れる」「第三の開国だ」「TPPへ反対するのは農業分野だから、農業の振興策をとればいい」と参加をすすめる大宣伝が行われています。本当にそうなのでしょうか。TPPは、消費者や地域経済にこそ大きな影響を与える問題です。完全な貿易自由化をめざすTPPに参加すれば、日本の農林漁業に壊滅的な打撃を与えることはもちろんですが、関税以外でも貿易の障壁となるものは取り払われるため、食の安全基準の緩和をはじめ、労働や金融・保険の自由化、医療への市場原理の導入などあらゆる分野で深刻な影響がでます。

TPPをすすめる狙いは何なのか、誰の利益になるのか、内橋氏が本質をズバリお話しくださいます。

主催：TPP等と食料・農林水産業・地域経済を考える岩手県民会議

(社)岩手県建設業協会、岩手県農業会議、岩手県農業協同組合中央会、岩手県農業共済組合連合会、岩手県たばこ耕作組合、岩手県土地改良事業団体連合会、岩手県森林組合連合会、岩手県森林・林業会議、岩手県漁業協同組合連合会、岩手県生活協同組合連合会、いわて生協、岩手県消費者団体連絡協議会、いわて食・農ネット、いわて労連、岩手県商工団体連合会 他26団体 問い合わせ先：岩手県生協連・岩手県消団連 TEL 019-684-2225・FAX 019-684-2227